

日本の文化・歴史

1 旧石器時代

きゅうせつきじだい
日本の最古の時代。いまだ日本列島は形成されておらず、大陸と陸続きの状態であったが、人々は打製石器などを使い、主に狩猟などを行い、移動生活をしていた。

2 縄文時代

じょうもんじだい
今からおよそ1万3000年前ほどから紀元前4世紀ぐらいまでの時代。日本列島が形成され、人々は磨製石器などで狩猟・採集などを行い、土器を製作、また、竪穴住居に暮らした。

3 弥生時代

きげんぜん せいきころ
紀元前4世紀頃から紀元3世紀頃までの時代。農耕が始まり、経済力が発展。さらに定住が進み、村が形成され、国家が誕生した。また、工夫された土器や農工具が製作された。

4 邪馬台国

やよいじだい しゅつげん
弥生時代に出現したとされる日本の古代国家。女王である卑弥呼が宗教的な力をふるって治め、中国との交流も行ったことなどが知られているが、その所在地はわかっていない。

5 古墳時代

こふんじだい
3世紀末から7世紀初めぐらいの時代。巨大な権力者らの墓である古墳が形成され、また、現在の近畿地方を中心に九州から東日本を支配した大和政権という国家が成立した。そして、この時代には大陸から仏教や儒教など、様々な文化が伝わった。

6 古墳

おか りょう
丘を利用したり、土を盛るなどして墳丘を築き、墓としたもの。土の表面は石（葺石という）でおおい、墳丘のまわりに濠をめぐらしているものもある。埋葬されている人々の多くは、大和政権の最高位にある大王や、大王を支える豪族と呼ばれた有力支配者などである。

7 奈良時代

へいじょうきょう
8世紀の時代。平城京（現在の奈良県奈良市）という都を中心に、律令制度というシステムで国家が運営され始めた。また、貴族と呼ばれた有力支配層を中心に、華やかな仏教文化が栄え、中国や朝鮮半島との交流も盛んであった。

8 平安時代

へいあんじだい
8世紀末から12世紀末までの時代。平安京（現在の京都市）という都を中心に、律令制度に基づく国家が、天皇を頂点として、貴族が補佐するという形式で栄えた。また、武士（武家）と呼ばれた軍事を専門とする人々が登場し、勢力を拡大した。

9 鎌倉時代

12世紀末から14世紀前半の時代。武士による政権が鎌倉（現在の神奈川県鎌倉市）に成り立した。これを鎌倉幕府といい、武家の最高位にあたる将軍に就任した源氏一族の源頼朝が開いた。鎌倉幕府は、その後の武家による政権（室町幕府・江戸幕府など）の先駆けとなった。

10 室町時代

14世紀前半から16世紀後半までの時代。武家の最高位にあたる将軍に就任した足利氏がという一族が、京都に室町幕府を開いた。室町時代の後半は「戦国の世」と呼ばれ、戦国大名が全国統一をねらって競い合った。

11 安土・桃山時代

16世紀後半から17世紀初めの時代。織田信長・豊臣秀吉らの大名が登場。秀吉による全国統一が実現した。また、庶民から大名層まで参加した華やかで新鮮な雰囲気を持つ文化が盛んとなった。

12 江戸時代

17世紀前半から19世紀後半の時代。大名である徳川家康による全国統一の結果、江戸（現在の東京都の中心部）に幕府を開いた（江戸幕府）。また、鎖国と呼ばれた海外との交流が制限される一方で、経済がさらに発展し、成熟した文化が栄えた。

13 明治時代

西暦1868年から1912年までの時代をさす。明治政府という新しい国家が誕生し、近代化と中央集権化を進め、欧米を中心とする文物が盛んにとり入れられた。また、芸術や教育・学問研究なども発展し、国民の生活もよりいっそう向上した。

14 大正時代

1912年から1926年までの時代。この時代は、引き続き近代化が進んだが、国内では「大正デモクラシー」と呼ばれる民主主義的風潮が広がり、立憲体制も充実化された。

15 昭和時代

1926年から1989年までの時代。この時代、日本は戦争の時代を迎え、アジア・太平洋などで多くの惨禍を経験した。敗戦国となった日本だが、戦後は民主主義と平和・経済の繁栄をめざす新しい国づくりに取り組んだ。

16 憲法十七条

7世紀初め、聖徳太子（厩戸王）が制定した道徳的な内容を持つ法令。主に仏教や儒教の影響を受け、「和の精神」などを強調した。

17 法隆寺

現在の奈良県斑鳩地方にある仏教寺院。ユネスコの世界文化遺産に登録されている著名な寺院建築で、聖徳太子の願いで建立された。金堂や五重塔は最古の建築物として知

られている。

18 大化の改新

7世紀後半に行われた政治改革。それまでの古い政治体制を改め、新しい律令制度に基づく新国家の建設をめざした。律とは古代の刑法、令は民法や行政法をさす。

19 東大寺

奈良時代の8世紀に、平城京付近に建立された仏教寺院。聖武天皇の願いによって建てられた。約16mの高さを持つ大仏や、国際色豊かな品々を納めている正倉院などがある。

20 校倉造

建築技法の1つ。柱を使わず、断面が台形や三角形の木材を「井」の字形に組み、壁面を構成する。東大寺正倉院は校倉造の最古で最大の建築物。

21 空海

平安時代、9世紀の仏教僧。中国に渡り仏教を学び、帰国後、日本に真言宗という仏教宗派を伝え、確立した。その他教育や芸術活動も活発に行った。

22 最澄

平安時代、9世紀の仏教僧。中国に渡り仏教を学び、帰国後、日本に天台宗という仏教宗派を伝え、確立した。京都近郊の比叡山という山に延暦寺を建て、天台宗の拠点とした。

23 貴族

律令国家における官僚であり、有力支配者層。律令国家では官僚たちに位が与えられており、そのうち上位5位以上の位を持つ者を貴族といった。主に天皇を補佐する立場にあったが、藤原氏のような貴族は政務を統括した。

24 藤原氏

古代律令国家の貴族。奈良時代には国家権力を握り、一族の繁栄を築いた。平安時代にはさらに天皇の政務を代わりに統括する役割を担い、絶大な勢力をほこった。

25 平等院

藤原氏が建立した仏教寺院。現在の京都府宇治市にある。平等院には著名な建物である鳳凰堂や、内部に仏像の「阿彌陀如来像」が置かれ、藤原氏の繁栄ぶりを示している。

26 元服

一般に、男子の成人式をさし、12歳頃から15歳にかけて行う儀式。知人の年上の人から烏帽子と呼ばれる帽子をかぶせられ、成人となった証として新たな名を授けられた。

27 武士(武家)

「兵」とも「侍」とも呼ばれる。武芸・戦闘・軍事を専門とする人々・集団であり、多くの一族が連合して武士団を形成した。武士団の中でも特に源氏一族と平氏一族が最高の家柄とされた。

- 28 **平清盛**
 最有力武士団である平氏一族の指導者。12世紀後半、政権を握り、平氏の繁栄をもたらした。また、中国との貿易にも積極的に取り組んだことでも知られている。
- 29 **源頼朝**
 最有力武士団である源氏一族の指導者。12世紀末、将軍に就任し、鎌倉幕府という武家政権を樹立、武士による全国支配の道を開いた。
- 30 **貞永式目（御成敗式目）**
 鎌倉時代の13世紀、鎌倉幕府の執権（将軍を補佐する職）をつとめた北条泰時が制定した武家初の法令。当時の武家社会の習慣や文化などをよく反映している。のちの武家による様々な法令に大きな影響を与えた。
- 31 **親鸞**
 鎌倉時代の仏教僧。初め天台宗を学んだが、多くの悩み（煩惱という）を自覚して仏に救われたいと願う人々こそ救われなければならないという「悪人正機」を説き、浄土真宗という新しい仏教宗派を開いた。
- 32 **琉球王国**
 現在の沖縄県に成立した独立王国。15世紀に尚氏が建国。首都は首里。那覇の港を拠点にアジア貿易を進め、繁栄した。
- 33 **足利義満**
 室町幕府を開いた足利尊氏の孫で、室町幕府3代将軍。幕府の諸制度を整備し、中国との貿易を開始した。また、文化も保護するなど、室町幕府の全盛期を築いた。
- 34 **鹿苑寺金閣**
 足利義満が建てた山荘を寺院としたもの。現在の京都市にある。金閣は、もとは金箔が張られていたのでこの名がある。
- 35 **観阿弥・世阿弥**
 室町時代に活躍した能（能楽）の大成者である父子。特に子の世阿弥は「幽玄」を基調とする能を芸術的に完成させた。
- 36 **慈照寺銀閣**
 室町時代に、室町幕府8代将軍足利義政が建てた山荘を寺院にしたもの。京都市にある。銀閣という建物は書院造という和風の住宅建築の様式をもっていることで著名である。
- 37 **御伽草子**
 室町時代に成立した庶民的な短編小説。内容は武家や僧侶、庶民の様々な姿を描いている。多くの日本人になじみ深い物語集である。代表作には『一寸法師』『物くさ太郎』『酒呑童子』などがある。

- 39 **茶道**
 喫茶の風習に仏教宗派の1つである禅宗の作法や思想が取り入れられ、「わび・さび」を基調とした閑寂で味わい深い雰囲気の中で茶の場がもうけられる。16世紀後半の千利休によって完成された。
- 40 **水墨画**
 墨の濃淡と描線の強弱で仏教の教えや風景や人物などを描く絵画の技法。鎌倉時代末から室町時代にかけて中国からとり入れられ、15世紀の雪舟によって完成された。
- 41 **雪舟**
 室町時代の画家で、日本の水墨画を完成させたことで知られている。代表作は『四季山水図巻』。
- 42 **織田信長**
 16世紀の戦国大名。尾張国（現在の愛知県）を拠点として全国統一を進めた。彼の新しい発想と機略に富んだ戦略は多くの日本人に知られている。
- 43 **戦国大名**
 戦国の世に活躍した有力な武士の指導者たち。領国と呼ばれた拠点をもち、常に全国統一を目的として相互に争った。16世紀の末、豊臣秀吉が全国統一を実現し、戦国時代は終りをむかえた。
- 44 **城下町**
 戦国時代から江戸時代にかけて発展した都市のこと。戦国大名が城郭（城）を中心に家臣団（部下である家臣のこと）や商工業者ら庶民を集めて住まわせ、計画的に建設した。現在も城下町から続く都市が各地に存在する。
- 45 **門前町**
 寺院・神社の門の前などから成立・発展した都市のこと。人々の往来が激しく、市場などが設営され、商工業も盛んとなった。中部地方の長野市は善光寺の門前町から発達した。
- 46 **堺**
 現在の大阪府堺市にあたる。15世紀後半からは海外貿易港としてにぎわい、会合衆と呼ばれた指導者が自治運営を行った。その繁栄ぶりは基督教の宣教師にも知られ、イタリアのヴェネツィアと比較され、注目された。
- 47 **喧嘩両成敗**
 一般的には武士の習慣として知られている。理由にかかわらず、喧嘩・争いの際には、当事者双方を処罰するというもの。戦国大名が制定した分国法という法令にも規定されている。

- 48 **一休宗純**
 いっきゅうそうじゆん
 室町時代の京都の大徳寺だいとくじの僧侶。禅宗をきわめ、主に一般庶民に教えを説いた。武家や支配者たちも教えを請うたので、大きな影響を与えた。
- 49 **徳川家康**
 とくがわいえやす
 まつだいら せい
 もとは「松平」の姓であったが、のち「徳川」に改めた。1600年の関が原せきがはらの戦いで勝利しょうりをおさめ、将軍職しゅうじんに就任、江戸に武家政権である江戸幕府を開いた。死後は、日光東照宮にっこうとうしょうぐう（現在の栃木県日光市）に霊が祀られている。
- 50 **江戸**
 どうきやうと ちゅうしんぶ
 現在の東京都の中心部。もともとは15世紀に江戸城えどじょうがつくられたことから発展し、徳川家康が入城にゅうじょう、江戸幕府の拠点となった。18世紀には人口は100万人を越え、将軍の「お膝元」として大発展をとげた。1868年、東京とうきやうに改名された。
- 51 **三都**
 さんと
 江戸時代に繁栄した日本の3有力都市ゆうりよくのこと。将軍の「お膝元」である江戸、天皇が居住し、伝統文化や工芸が盛んであった京都、「天下の台所」と呼ばれた大商業都市であった大坂（のち大阪）をさす。
- 52 **宿場町**
 しゆくばまち
 特に江戸時代、大名や庶民（町人・農民）たちが往来した交通路である街道や港町に宿泊施設の宿屋などが作られ、宿場町として発展した。ただし、大名と庶民は身分が違うため、同じ宿屋には宿泊できなかった。
- 53 **飛脚**
 ひきゃく
 しょじょう きんびんるい
 書状や金品類、その他小荷物などを送り届ける業者のこと。江戸幕府が専用を使用したものや、大名・庶民と、身分別に分類されていた。明治時代には郵便制度に代わった。
- 54 **藩**
 はん
 江戸時代の大名の領国やその支配機構をさす言葉。藩の最高領主を藩主はんしゅといい、家臣は藩士という。藩を持つ大名間にも格付けがあり、将軍との関係から親藩・譜代・外様に分けられていた。
- 55 **将軍**
 せいいたいしやうぐん
 もとは征夷大將軍といったが、鎌倉時代からは武家の総司令官・最高権力者をさすようになり、幕府という権力機構を作った。源氏や足利氏・徳川氏などが就任した。
- 56 **鎖国**
 さこく
 江戸幕府が行った海外諸国との交流制限政策のこと。日本人の海外渡航禁止と外国船往來制限を柱とした。しかし、長崎や琉球王国、対馬（現在の長崎県対馬）などが海外への窓口となり、海外情報も摂取していた。

- 57 **西陣織**
にしじんおり
 京都市西陣の伝統工芸品の1つで、高級絹織物のこと。特に江戸時代に盛んとなり、のち各地にその技術が伝わった。
- 58 **二宮尊徳（金次郎）**
にのみやそんとく きんじろう
 19世紀後半、江戸時代末期の相模国（現在の神奈川県）の農民。飢饉など自然災害で荒れ果てた農村を復興させた指導者。勤勉・儉約を教え、彼の農村復興運動は報徳仕法といわれた。
- 59 **銭湯**
せんとう
 沸かした湯を浴槽に満たして入る浴場・風呂屋のこと。もともとは蒸し風呂から始まったが、江戸時代には湯の中に入る「湯屋」となった。庶民の娯楽の場ともなり、情報などが交換された。現在では家内での風呂が一般的になっているので銭湯の数は減っている。
- 60 **浮世絵**
うきよえ
 江戸時代、庶民的な版画によって広まった絵画の1つ。菱川師宣という画家が確立した。色彩も豊かで、19世紀には全盛期を迎え、女性・役者・相撲取り・風景などを題材に数多く描かれた。フランス絵画、特に印象派の画家たちに大きな影響を与えたことでも知られている。
- 61 **松尾芭蕉**
まつおぼしやう
 江戸時代の俳諧の専門家で、俳諧を芸術的に高めた。俳諧は、日本語を5句・7句・5句と書き並べて、必ず季節を表す言葉を入れて作る文芸のことである。芭蕉の作品としては、旅をしながら俳諧を作り、編集した俳諧集『奥の細道』が有名である。
- 62 **夏目漱石**
なつめそうせき
 明治時代から大正時代にかけて活躍した文学者。日本人の多くが読む小説家の1人である。代表作に『吾輩は猫である』『それから』『こころ』などがある。近代日本人の内面性を鋭く追求する文明批評も行った。
- 63 **芥川龍之介**
あくたがわりゆうのすけ
 20世紀前半に作品を残した作家。初めは歴史的題材をとりあげて、現実社会を理性的・知的に書き上げたが、のち、自己や社会が抱えている苦悩などを超現実的に描く作品になっていった。代表作に『羅生門』『鼻』『河童』などがある。彼の名を冠した「芥川賞」という、主として新人の小説家に与えられる文学賞がある。
- 64 **湯川秀樹**
ゆかわひでき
 日本の物理学者。1949年、日本人初のノーベル賞（物理学賞）を受賞した。また、世界的に著名な科学者であるアインシュタインらと核兵器廃絶などの平和運動に取り組んだことでも知られている。

65 歌舞伎

江戸初期に成立した演劇。舞台上で歌舞伎役者が音曲に合わせて台詞を発し、展開していく。作品のなかには歴史的な事件を題材にしたものもあるが、恋愛をテーマにしたものもあり、男性が女役を演ずる。この女役のことを「女形」という。

66 落語

舞台上で1人の話し手（落語家という）が、音曲を入れたりしながら、最後に「おち」をつけて、話をまとめて終える話芸。落語を演ずる場所を寄席という。庶民の喜怒哀楽などを題材とする作品が多く、日本人がよく知っている大衆芸能の1つ。

67 枯山水

禅宗の寺院などの庭を造る技法の1つ。普通は、水を使わずに砂と石で山水自然の様子を表現する。その静寂な美は日本人の精神に合致しているといわれている。特に有名な枯山水の庭園としては、京都の竜安寺石庭や大徳寺大仙院庭園などがある。

68 年賀状

毎年、正月の時期に、新年のあいさつとして、親族・友人たちに送り届ける書状のこと。たいいていは、「新年あけましておめでとうございます」「謹賀新年」などの表現が使われる。日本人は年賀状を受け取って、新しい年を迎えた喜びにひたる。

69 節句

季節ごとに定められた祝いの日のこと。江戸時代からは五節句を庶民も祝うようになった。五節句とは、人日（1月7日）・上巳（3月3日）・端午（5月5日）・七夕（7月7日）・重陽（9月9日）の5つの日である。

70 祇園祭

京都の祇園社（八坂神社）の祭礼のこと。15世紀の戦乱で一度中断したが、のち京都の住民たちが復活させた。車のついた台上に山に似せた物を乗せ、その山の上に刀などを立てた山鉾を巡行させる。現在は7月17日と24日に巡行が行われる。

71 結納

男女が、結婚を約束（婚約という）した証に、夫婦となる双方から金品を取り交わす儀式のこと。

72 打ちかけ

日本の結婚式に着られる花嫁（新婦という）の衣装。もともとは江戸時代の武家の婦人の正式な服装の1つであった。

73 三々九度

日本の結婚式で、夫（新郎という）と妻（新婦）が三つ組の杯という器で三度ずつ、合計九度酒を飲み交わすこと。日本式の結婚式では欠かすことのできない重要な儀式の1つである。

74 黒澤明

日本を代表する映画監督。1950年にはその作品『羅生門』でベネチア国際映画祭グランプリを受賞し、世界的名声を得た。その他の作品としては『生きる』『七人の侍』『影武者』などがある。

75 宮崎駿

現代日本を代表し、世界的な評価を獲得しているアニメーション映画製作者で監督・脚本家。『となりのトトロ』や『もののけ姫』、また『千と千尋の神隠し』などの作品がある。

76 手塚治虫

日本の漫画文化を高めた漫画家。その作品には現代社会や科学・人間の問題を批判的に描いたものもあり、その作風には文明批判的な要素も込められている。代表作品に『鉄腕アトム』『ジャングル大帝』『ブラックジャック』などがある。

77 交番 (交番所)

都市や町中に設けられている警察官のいる建物のこと。常時、警察官が配備されており、日本社会の安全の維持に貢献しているといわれている。派出所ともいう。

78 就活

就職活動の略。普通は、大学生の就職活動をさすが、広く求職をさす言葉。

★練習問題

- (1) 江戸時代、浮世草子といわれた小説を描いた文学者は誰か。
① 井原西鶴 ② 松尾芭蕉 ③ 菱川師宣 ④ 市川団十郎
- (2) 日本で、神仏に関する祭礼や供養のことを何というか。
① 巡礼 ② 富くじ ③ 縁日 ④ 講
- (3) 奈良時代や平安時代の国家官僚で、国家から5位以上の位を与えられて奉仕する有力者を何と行ったか。
① 武士 ② 豪族 ③ 貴族 ④ 守護
- (4) 神々が集う高天原の中心の神であり、太陽神でもある天照大神を祀る三重県の神社は何か。
① 春日大社 ② 石清水八幡宮 ③ 鶴岡八幡宮 ④ 伊勢神宮
- (5) 奈良時代から16世紀後半にかけて、中央国家の有力支配者や地方の富裕層らが所有した大私有地制度を何というか。
① 荘園 ② 古墳 ③ 田荘 ④ 天領
- (6) 片手で「はさみ」「石」「紙」の形をお互いに出し合って勝負を決する遊びのことを何というか。
① あぐら ② せいざ ③ じゃんけん ④ あくび
- (7) 学生時代の友人や師たちと定期・不定期に集まり、学生時代などの思い出話や、近況などをお互いに話し合い、旧交をあたためる会を何というか。
① 自治会 ② 旧友会 ③ 生徒会 ④ 同窓会
- (8) 古くから日本人が重視してきた、自分が所属している共同体や集団に対する嘘偽りのない朗らかな心を何というか。
① 和心 ② 清明心 ③ 羞恥心 ④ 親切心
- (9) たいていは24時間の営業を行い、緊急に必要な品物でも手軽に購入できるような、小型の商店を日本人は何と呼んでいるか。
① シネコン ② スナック ③ デパート ④ コンビニ
- (10) ヨーロッパで音楽を学び、1972年アメリカのボストン交響楽団常任指揮者に就任、現在も欧米の著名なオーケストラの指揮をつとめる日本人音楽家は誰か。
① 小沢征爾 ② 服部良一 ③ 芥川也寸志 ④ 山本直純

- (11) 日本の古い民家の中に住む、幼児の姿をした妖怪は何と呼ばれているか。それが住みついている家は繁栄すると信じられている。
 ① なまはげ ② ざしきわらし ③ かつば ④ のっぺらぼう
- (12) 特撮と呼ばれる大胆で豪快な映像撮影技法にすぐれ、『ゴジラ』や『ウルトラマン』などの作品で有名な映画製作者で監督は誰か。
 ① 宮崎駿 ② 黒澤明 ③ 円谷英二 ④ 北野武
- (13) 『朝日新聞』誌上に長期にわたり連載した『サザエさん』という日本のどこにでもありそうな家庭の日常を描き、人気を博した漫画家は誰か。
 ① 手塚治虫 ② 長谷川町子 ③ 白土三平 ④ 池田理代子
- (14) 沖縄県特産の焼酎で、米や粟を発酵させ、蒸留して製造する酒類を何というか。
 ① にごり ② どぶろく ③ あわもり ④ ごーや
- (15) 2011年のサッカーアジア大会で優勝した日本の代表選手で、大会後、イタリアサッカー1部リーグ（セリエA）の強豪クラブのインテル＝ミラノに移籍したDF（ディフェンダー）は誰か。
 ① 本田圭祐 ② 長谷部誠 ③ 長友祐都 ④ 香川真司
- (16) 日本の結婚式の1つの儀式で、家族・友人らが一同に集まった場で飲食をしながら、新郎新婦（夫婦となった男女のこと）を祝福することを何というか。
 ① かどで ② ひろうえん ③ おみあい ④ みこしをかつぐ
- (17) 全国高校野球選手権大会が行われる野球場はどこか。毎年春と夏に開催される。
 ① 甲子園球場 ② 神宮球場 ③ 東京ドーム球場 ④ 後樂園球場
- (18) 他の夫婦の妻に対する呼び名で、自分よりも年上や目上の人の妻などの尊称を何というか。
 ① 亭主 ② 檀那 ③ 奥方 ④ 女房
- (19) 劇場などの新築や改築を祝って行う最初の芸能や興業などのことを何というか。
 ① 桧舞台 ② 柿落とし ③ 幕の内 ④ お蔵入り
- (20) 日本の神社の参道の入り口に立てられている門のことを何というか。
 ① 脚立 ② 玄関 ③ 鳥居 ④ 祠
- (21) 日本人が行う遊びの1つで、欧米のトランプに似た絵や文字を書いた札のことを何というか。
 ① こま ② かるた ③ さいころ ④ いご
- (22) これまでにノーベル文学賞を受賞した日本人の作家は誰か。
 ① 井上ひさし ② 三島由紀夫 ③ 大江健三郎 ④ 遠藤周作

- (23) 日本のおおずもうの本場所が開催される都市はどこか。
- ① 金沢 ② 札幌 ③ 神戸 ④ 福岡
- (24) 三味線の伴奏により節をつけて語る庶民的な芸能は何か。主として「義理」と「人情」を語って聞かせる。
- ① 能 ② 詩吟 ③ 浪曲 ④ 漫才
- (25) 日本の庶民が担う民間伝承や風習・信仰を研究し、民俗学という学間を確立した学者は誰か。
- ① 柳宗悦 ② 西田幾多郎 ③ 吉野作造 ④ 柳田国男
- (26) 物語の登場人物や場面を絵に描き、抑揚をつけて語り見せる庶民の娯楽を何というか。以前は子どもたちの楽しみの1つであったが、現在は激減している
- ① 紙芝居 ② 講談 ③ 影絵 ④ 絵馬

★解答・ワンポイント解説

- (1) 正解は① ②は江戸時代の俳諧を芸術として高めた人物。③は浮世絵を確立した。④は歌舞伎役者。
- (2) 正解は③ ①は神社や寺院に出かける参詣さんけいなどのこと。②は江戸時代の賞金あて興行。
- (3) 正解は③ ①は軍事の専門集団。④は鎌倉時代から室町時代の有力武士の呼び名。
- (4) 正解は④ ①は奈良県にある藤原氏の神社。②は京都府の神社。③は鎌倉にある神社。
- (5) 正解は① ③は大和政権の大王家の所有地。④は江戸幕府の領地。
- (6) 正解は③ ①は両足りょうあしを組んで座ること。②は背筋せすじを伸ばして両足を折り曲げて座ること。④は眠くなつたとき、口をあけてする呼吸こきゅうのこと。
- (7) 正解は④ ①は町内ちやうないの居住民きよじゆうみんの会。③は小中高生の代表者の会。
- (8) 正解は② 清明心は古代の日本人が重視した心のあり方。③は恥かしく思おもう心。
- (9) 正解は④ コンビにはコンビニエンスストアの略。全国的なチェーン店がほとんど。
①はシネマ=コンプレックスのことで、映画館を中心えいがかんに多くの娯楽施設ごらくしせつが入っている建物などのこと。②は仕事帰しごとがえりなどに立ち寄たち寄りって酒食しゆくやカラオケで歌うたったりする店のこと。
③は大量販売たいりやうはんばいをする大型店おおがたてんのこと。
- (10) 正解は① ②は昭和時代初期しやうしから活躍したジャズ風の音楽作品おんがくさくひんを作った作曲家さつきよくか。④は昭和時代後期にテレビなどで活躍した音楽家で作曲家。
- (11) 正解は② ①は秋田県などで行われている儀式で、家々いえいえを訪おもつれる「神の使い」のこと。子どもの成長せいちやうを願うために子どもに呼びかける。③は古くから伝えられてきた川や池などに住むとされる想像上そうぞうじやうの動物どうぶつ。頭しらに皿さらをもっている。④は顔めだけあつて目鼻口めはなぐちがない妖怪ようかい。
- (12) 正解は③。①は現代アニメーションの製作者で監督・脚本家。②は映画監督。④は現代の芸能人げいのうじんで映画監督。
- (13) 正解は② ①は『鉄腕アトム』などの作品がある漫画家。③は『カムイ伝』などで知られている漫画家。④は『ベルサイユのばら』などの作品がある漫画家。
- (14) 正解は③ ②は濁にごり酒のこと。④は沖縄県などでとれるウリ科の植物。
- (15) 正解は③ ①はロシアのサッカークラブに所属。②と④はドイツのクラブに所属している(2011年2月現在)。
- (16) 正解は② ①は家いえを離はなれて暮らしたり、新しい生活を始めること。③は結婚けんこんを前提ぜんていとして、人かいを介して会あって食事しょくじや歓談かんたんなどをすること。
- (17) 正解は① 甲子園球場ひやうごけんじゆのみやしは兵庫県西宮市にある。②は東京にある球場。プロ野球球団きやうやうだんの東京ヤクルトスワローズの拠点でもあり、東京の大学野球だいがくやまやうの球場としても使用されている。③はプロ野球球団の東京読売ジャイアンツとみやうりの拠点となっている球場。④は東京ドーム球場の以前の名称。

- (18) 正解は③ ①②は夫に対する呼び名。④は妻に対する呼び名だが、夫が自分の妻のことを呼ぶときの^{めいしやう}名称である。
- (19) 正解は② 「^{こけら}柿」とは、材木を切るときに出る木の^{こま}細かい片のこと。新築・改築工事の最後の作業で、床や^{やね}屋根などの「柿」を^{はら}払い落としたことから言われるようになった
- (20) 正解は③ 鳥居は神に^{そな}供えた^{にわとり}鶏の止まり木のこと。鳥が居やすい場所という意味でもあるとされている。②は家の出入口。④は神を^{まつ}祀った小さな施設や建物のこと。
- (21) 正解は② かるたの語源はポルトガル語とされている。
- (22) 正解は③ 大江健三郎は1968年にノーベル文学賞を受賞した^{かわばたやすなり}川端康成に次いで、1994年に受賞した。
- (23) 正解は④ 毎年12月に開催され、^{きゆうしゅう}九州場所といわれる。
- (24) 正解は③ ④は舞台上などで1人、もしくは複数的人数で^{おもしろ}面白おかしく話し、歌い、^{きげき}喜劇などを演じる庶民的な芸能。
- (25) 正解は④ ①は庶民的な工芸品を高く^{ひやうか}評価した^{みんげい}民芸運動の指導者。②は日本独特の^{どくとく}哲学をつくりだした^{てつがくしや}哲学者。③は「^{みんほんしゆぎ}民本主義」という^{こくみん}国民の^{けんりこうじやう}権利向上のための^{せいじりろん}政治理論を作り出した大正時代から昭和時代初期の^{せいじがくしや}政治学者。
- (26) 正解は① ②は舞台などで、歴史や戦乱などを題材に語り聞かせる^{こうみやう}巧妙な^{わじゆつげい}話術芸。④は^{きがん}祈願などのために寺院・神社に^{ほうのう}奉納した^{えい}絵入りの^{ふだ}札・^{がく}額のこと。